

TTC 定例山行実施記録表

2014年1月12日 報告者: 肥田 美佐子

山行名	金時山新年山行		[神奈川県・静岡県/1,213m]								
実施日	2014年1月11日[土] 公共交通機関利用										
天候/参加人員	天候: 1/11: 晴れ時々曇り、 レベル: ★☆ 参加者: 申込23名/実施21名(男性15名/女性6名)										
スタッフ	CL/計画/会計:、SL:、救護:、写真:		スタッフ名削除								
参加メンバ	A班:、B班: C班:、D班:		参加者氏名削除								
費用(交通費) ¥2,380 円/人 (本厚木起点)	《内訳》 往路公共交通費[小田急線:本厚木駅-新松田駅 @330 路線バス:新松田-地蔵堂 @640]、 復路公共交通費[路線バス:仙石-小田原駅 @970 小田急線:小田原-本厚木@440] 小田原での新年会費用は別途(未計上)										
歩行/行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間	行動時間比(実行/計画) 98% 歩行時間比(実行/計画) 96% 歩行時間比(実行/ガイドブック) 108%						
	ガイドブック	4:00	-	-							
	計画	4:30	1:40	6:10							
	実行	4:19	1:45	6:04							
実行コースタイム記録											
小田急線	バス	0:20	0:20	0:30	1:00	0:45(昼食)0:50	0:30	0:04	バス		
本厚木駅	==新松田駅==	地蔵堂	---夕日の滝	登山口	---小休止	猪鼻峠跡	---金時山	---矢倉沢峠	仙石原	---仙石バス停	==小田原
7:10	7:49-8:10	8:50-9:05	9:25-40	10:00	10:30-45	11:45-55	12:40-13:30	14:20-30	15:00-05	15:09-21	16:10
コースの概要、特記事項、反省事項等											
<p>数日前から天気予報で「寒波到来」を告げられ、前日には大山がふもと近くまで積雪していた。金時山も同様に積雪していることを予想しながら新松田で地蔵堂行きのバスを待った。増便なしと聞き、21名全員が乗れないことを懸念して早めにバス停に着いたため、先頭に並ぶことができた。30分ほど待ってバスに乗り込み全員座ることができた。出発時刻近くには大勢の列ができ、バスの中はほぼ満員の状態になったので早めに並んだことは良かったと感じた。</p> <p>地蔵堂に着き、トイレ、準備体操を済ませ、夕日の滝に向かって出発した。もしかしたら、この寒さで夕日の滝は凍結して氷瀑を拝めるのではないかと期待もあったが、滝の途中に短い氷柱(つらら)が何本も下がっているにとどまっていた。それでも、落差 23メートル、幅 5メートルの滝は見る価値があった。金太郎が産湯を浸かったという伝説が残され、1月半ばには夕日が滝口に沈むことから「夕日の滝」と名づけられたそうである。滝をバックに写真を撮り、金時山を目指した。</p> <p>前日、前々日と降雪があったようで、一面新雪が美しく輝いていた。登山口を進むと、木々の枝々に真っ白な雪が降り積もり、それはため息が出るほど素晴らしい光景だった。また、杉林の中に入るとすぐ右側にそこだけまるでライトアップされたかのような空間が現れた。一部分、杉が刈られた後に自然に低木が生えてきており、その枝々に降り積もった雪がそんな素敵な空間を表現してくれていたのだった。杉の木々にも点々と白い模様ができ、そんな景色に感激しながら、時折降ってくる雪の粒を浴びながら杉林の中を進んでいった。途中、脱ぎタイム、休憩を取り、川を 3 回渡り、「老朽化のため注意」の書かれた看板のある丸木橋を 2 回渡り、なだらかな道を歩いた。標高が上がるにつれ、積雪が多くなり、松葉や落ち葉の上に降り積もった雪をキシキシと踏みしめながら、快適に歩みを進めた。雪道には途中出会ったマウンテンバイクのタイヤ跡がずっと続いていた。</p> <p>出発からほぼ2時間後に猪鼻峠跡に着いた。正面には富士山とそのふもとが一面に広がり、それまでの疲れが取れる気がした。頂上までは積雪はあったがアイゼンを付けることなく行くことができた。頂上近くには12脚の金属製の階段が続き、「一つ目、二つ目」と一つ一つ数えながら息を弾ませて登っていった。</p> <p>頂上では、世界遺産に登録された秀峰富士を間近に眺め、ふもとの雄大な景色を堪能しながら思い思いに昼食を取った。下山は、安全のためアイゼンを装着したが、10分ほどで雪も少なくなり、外すことにした。それからは、まるでチョコレートをかき出したようなどろどろの道になり、皆、辟易しながらも何とか仙石原に下りることができた。途中の休憩時にはお互い泥はねの汚れを見せ合うほどであった。仙石からは大人数で乗り換えることの手間を考え、バスで小田原まで行くことにした。幸い、道路渋滞もなく、スムーズに小田原に着くことができた。</p> <p>新年会は小田原市内「和民」で行ったが、その中で、WEさんのキリマンジャロ登頂も祝って乾杯した。皆、和気あいあいと語り合い、思う存分飲み交わして帰途についた。</p> <p>今回の山行では、雪道でもあることから「ゆっくり」歩くことを心がけた。それでもほぼ計画通りの時間に行動することができ、また、全員が何の故障や怪我もなく、山行を終えることができたことが嬉しい。初めてのリーダーということでプレッシャーもあったが、皆さんのご協力により無事務めることができたことに感謝している。</p>											
-以上-											